

なほ

2月号
vol. 216

「にしなりの街角・街並み
西成の国登録有形文化財 鯛よし百番」
山王3丁目5の25

障老病生 特集

at Nishinari
from Nishinari
西成で / から ... 13

第四回 働きたいけど働きづらさのある様々な職員の物語

障老病生

at Nishinari
from Nishinari の物語
西成で / から … → 13 ♥

第四回 働きたいけど働きづらさのある様々な職員の物語

「障老病生」とは、仏教の「生老病死」をもじって、「障害を持つこと」「老いること」「病気になること」「人と違った人生を生きること」を意味する造語です。本人もその周りの人たちも、とまどいや不安など、いろんな気持ちを抱きながら、一人ひとりの物語を紡いでいます。その物語に寄り添いながら、「福祉って?」「幸せって?」「地域って?」など、みなさんと一緒に考えていければと思います。
※サブタイトルの意味は、最終回に…

はじめに

さて、障老病生の物語、最終回の今回は、働きたいけど働きづらさのある様々な職員の物語です。これまでの連載では、福祉サービスの受け手にフォー

カスしてきましたが、最終回では、その担い手にフォーカスしてみたいと思います。

西成区北西部で活動している私たち社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会では、現在、約300名の職員が働いています。そのうち、障害のある職員が16名(約5%)、ひとり親家庭の職員が11名(約4%)、同居家族の介護をしている職員が8名(約3%)、特定技能などの外国

区分	障害	ひとり親	家族介護者	外国籍	高齢	合計
当該職員数	16	11	8	17	16	68
UW率(%)	5.1%	3.5%	2.5%	5.4%	5.1%	21.5%

表 当協会におけるユニバーサル就労(UW=Universal Worker)対象者

※UW率の分母(総職員数)は316名 ※2024年9月末時点



籍の職員が17名(約5%)、70歳以上の職員が16名(約5%)、合計68名が何らかの働きづらさを抱えていることになりました。わかっているだけで、もっと多いかもしれません…。私たちは「ユニバーサル就労」という考え方で、誰にとっても働きやすく、働きがいのある職場づくりを推進してきました。そこで、何らかの働きづらさを抱える職員一人ひと

りの物語に寄り添うことで、考えたことについて書いていきたいと思えます。

ユニバーサル就労で働きたい職場環境を

「職場の理解やシフトの配慮などがあり、知的障害があっても子育てしながら働き続けています。」

「様々な手当や仲間の支えもあり、ひとり親でも働き続けることができます。」

「家族介護手当や時間外制度があるので、同居している認知症の親や障害のある子どもも面倒を見ながら、介護離職せず働けています。」

「定期的なオンラインミーティングや国家試験対策講座などをしてもらっているのので、郷のベトナムで介護施設をつくりたいという夢に向かって頑張っています。」

「シルバー人材制度のようなヴィンテージ制度のおかげで、定年後の再雇用上限の70歳を超えても居場所と出番をもらい、生きがいをもって働いています。」

これらは、働きたいけど、働きづらさのあ

る全ての人が、働けるような仕組みをつくることを目的として、2018年度よりユニバーサル就労支援事業(西成区生活・就労支援事業)などを始めてから寄せられた職員の声です。

誰にとっても働きやすい職場環境づくりをめざしていく取り組み、つまり、特定の誰かのための働き方ではなく、職員全員が働きやすい職場環境づくりを目指していく取り組みそのものを「ユニバーサル就労」といいます。障害や病気があってもなくても、働きたいのに働きづらさのある全ての人が対象です。また、すでに当協会が働いている人も対象です。

このような方々をアシストする「ユニバーサル就労」という言葉は、「ユニバーサルデザイン」のアレンジで、バリアフリーやノーマライゼーション、障害者権利条約など、障害者に対する差別や権利擁護の運動と深い関わりがあります。千葉県にある社会福祉法人生活クラブ風の村の登録商標で、私たちはその許可(無料)を得て事業を進めています。

ちなみに、ユニバーサル就労は2015年

ユニバーサル就労システムの全体像

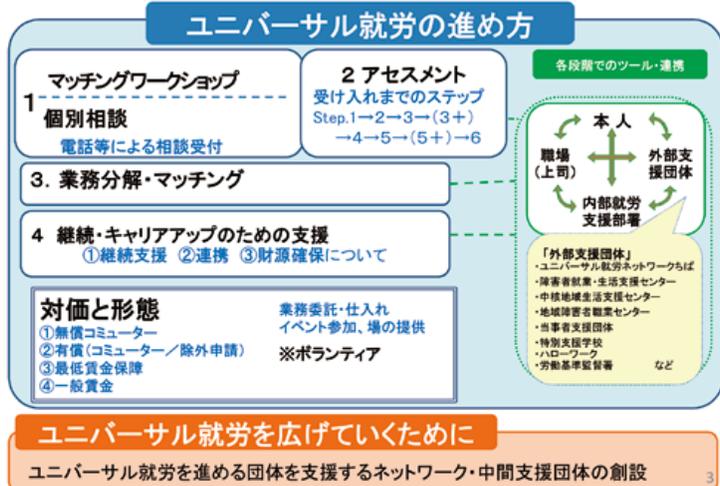


図2 ユニバーサル就労システムの全体像
出典: 社会福祉法人生活クラブ風の村作成パンフレット

障老病生の物語は、いかがでしたでしょうか？
一回目は、犯罪を犯した障害者の物語、二回目は、高齢者のリハビリという老いの物語、三回目は若年性認知症という病気の物語、今回は、様々な人生を紡いできた職員の物語でした。
さて、サブタイトルの意味ですが、いずれも、「西成で」紡がれている物語で、読者のみなさまには、「西成から…」何らかのメッセージや問いかけを受け取っていただけたのではないのでしょうか？

おわりに

障老病生の物語は、いかがでしたでしょうか？
一回目は、犯罪を犯した障害者の物語、二回目は、高齢者のリハビリという老いの物語、三回目は若年性認知症という病気の物語、今回は、様々な人生を紡いできた職員の物語でした。

あわせて、近い将来の日本が直面するであろう様々な福祉的課題が累積し、輻輳している「西成で」活動している私たちがだからこそ、様々な理論と実践を「西成から…」発信することで、社会に貢献できることがあるはずと、思っています。

そして、私たちが目指す方向「1」は、福祉制度が依拠する最低生活保障(憲法25条)ではなく、誰もがより幸せに生きることができ、憲法「13」条の幸福追求権に依拠した「1」血の通ったまちづくりです。
また、ここでお会いできることを楽しみにしております。お付き合いましたら、本当にありがとうございます。

文責: (社)ヒューマンライツ福祉協会
法人本部・障害者支援部 部長 屋代直信
※個人情報保護等の観点から、一部事実を改変して掲載しています。



ヒューマンライツ福祉協会
LINE公式アカウント

ソーシャルワークの必要性

に施行された生活困窮者自立支援制度の就労訓練事業(中間的就労)のモデルのひとつとして、全国に紹介されました。

厚生労働省の2023年度障害者雇用実態調査によると、全国の5人以上の企業で働く障害者は、推計110万7千人で過去最多となりました。前回の2018年度調査から25万6千人増加です。一定規模の民間企業に義務付けられる障害者法定雇用率が、2024年4月に従来の2.3%から2.5%に引き上げられ、企業の採用意欲が向上したことが主な要因と考えられます(2026年には2.7%に引き上げ予定)。あわせて、障害者権利条約では、働く障害者に対して、企業による合理的配慮(働く質の向上)も求められています。

ところが、障害者の雇用が拡大する一方で、雇用金を売銭で売買するような雇用支援ビジネスの増加、障害者に仕事をさせないまま補助金で儲ける事業者や在宅の障害者

に実態のない就労支援を提供し儲けている事業者の横行など、差別や排除のない共生社会づくりに逆行する動きもあります。このような動きに対して、私たちは何ができるでしょうか？

私たちは「一人権を基本とした自立、参加共生の社会づくり」という創業の理念に基づき、障害者をはじめとしてユニバーサル就労の取り組みを進めています。しかしながら、障害者の生活支援や高齢者の介護支援などのケースワークばかりに気を取られ、ソーシャルワークが充てられていないのでは

個別支援を中心としたケースワークはもろろん重要です。しかし加えて、障害者や高齢者ま

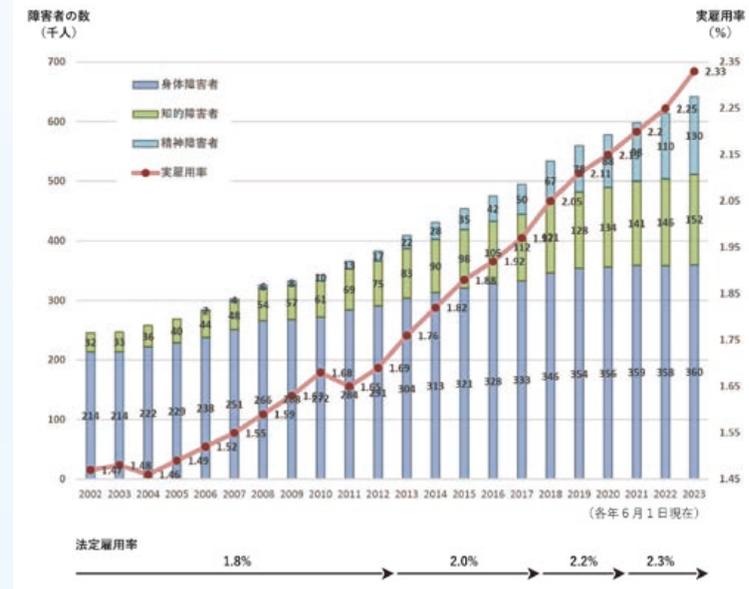


図1 民間企業における障害者の雇用状況
出典: 内閣府「令和6年度 障害者白書」80頁を基に作成

更生の道のりで見つけた新しい「表現」のカタチを
よりそいネットおおさかが紹介します。

あなたの センスに あっぱれ!

第2回 芸術の秋に あっぱれ!

肌寒くなり始めた10月、西成でアートワークシヨップが開催された。会場は釜ヶ崎にある「コッルーム」。カフェ、ゲス

トハウス、アート大学と多様な役割を持つ地域の居場所であり、建物内には制作された様々なアート作品が展示されている。壁や天井までも色鮮やかに装飾され、一つの作品のような空間の魅力に引かれ、海外から訪れる人々も少なくない。

その日行われたのは「額装ワークシヨップ」。自分の作品を一層輝かせる「額縁」を作るという内容で、展示会を控えるアーティストたちが参加。主な材料は「ごくごく身近にある段ボールのみ」「切る」「貼る」「塗る」という工程を経て、唯一無二の額縁を作り上げた。

参加したアーティストたちは自身の作品を想像しながら、枠のデザインや使用する段ボールの選定、全体のデザイン、配色に至るまでをすべて考え、細部まで



こだわりを見せた。アシスタントに指示を出す姿からは自身の作品に対する思いながらも、2時間でワークシヨップは終

了。額縁とはいえ一つの作品を作り上げたアーティストたちの表情には、達成感が漂っていた。



11月には、堺市にある国際障がい者交流センター(通称:ビッグアイ)で「ともに生きる障がい者展」が開催された。会場には主に大阪府内の障がい福祉事業所が集まり、各事業所のアーティストたちによる作品展示や販売、ステージでの演芸披露などが行われた。会場は大盛況で、よりそいネットおおさかも会場の一角で小さな展示会を開催した。

ワークシヨップに参加したアーティストたちも、自作した額縁に作品を納めて出展し、たくさんの人に活動の成果を見てもらう機会となった。アートに触れるだけでは、作者がかつて罪を犯したことがあるなど知る由もないが、作品に目を向けていると、制作の背後にある物語を想像することもできる。個性豊かな作品には見るたびに違う発見があり、来場者の中には何度か往復して足を止める人の姿もあった。もしかするとアート作品を通じて、身近な誰かのことを思い出しているのかもしれない。



一般社団法人よりそいネットおおさか

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4-15
大阪府社会福祉会館2階
TEL/FAX: 06-6711-0130
HP: <https://www.yoriso-osaka.jp>

よりそいネットおおさかは、刑務所等の矯正施設を退所した人たちの支援や、支援者との関係づくりに取り組み、ネットワーク型の福祉構築を目指した活動を行っています。



[磯拓哉] 年末年始の話。爆発的に流行しているインフルエンザにもれなく掛かりまして40℃の熱を出しました。かなりしんどかったです。皆さん手洗いうがいしてくださいね! 笑

[沖田一志] 毎週火曜日に事務所の窓から市民交流センター跡地の写真を同じアングルで撮り続けて1年が経過した。スライドショーで写真を見ると建物が完成するまでのタイムラプス動画になる予定。

[笹川勝正] 9月号コメントで「毎朝トマトジュース飲んでます」と書き、期待して健康診断を受けました。結果! 変化なし! (泣) 最近は夜に黒酢も飲んでるので、次に期待します。

[住友宣夫] はじめまして、『なび』に関わるようになりました住友宣夫です。よろしくお願ひします。皆さん、寒さも厳しい時期ですので体調を崩さないようにしましょう。



おかんのため息

- おかん はあ…。国の壁を超えるのってなかなか難しそうやで。
- ◆ 息子 くん？ 最近は外国人の存在が身近になってきたもんなあ。
- 今回も友だち呼びました、西浜さんです。
- ◆ 母がお世話になってます。
- 介護保険で福祉サービスを受けてる利用者さんの話やけど、今回は外国人やねん。
- ◆ へえ。
- その人は日本での生活も長いんやけどな。
- 西浜 そう。言葉は問題ないんやけど、日本人とちがう感じ方、考え方、捉え方をよくしはる。なんかうまく言えんけど。
- ◆ たとえば、どんなことで？
- 病院に行きたがらない。アベルさんってドイツ人なんやけど、「日本は間違ってるでしょ、遅れてるんだ」って、わかろうとしてくれない。
- ◆ ほお。
- だから、行く先々でお医者さんと喧嘩してなかなか病院が決まらんし、どんどん身体を悪くしてはった。
- 腎機能はダメになるし、目も見えなくなって。介護保険に繋がったときには糖尿病も深刻な状態になって、人工透析、癌の転移、ヘルニアも。
- もっと早くに治療してたら、あそこまで進んでなかったのにな。
- 身体はそんな状態で、本人が思う治療になかなか繋がれずにイライラしてるるときやったから、最初から印象が良くなかった。「あなた

たちは医者の言うことは神様だからね」って言うし。私らにとって当たり前のことがお国柄のせいなのか、わかってるようでわかってない感じがある。どう言うたらいんやろ？

- ◆ これまでとはちがう難しさやね。
- それでも大事なときがあって、病院に付き添ってきました。前日からそんな風で態度や言葉が憎たらしい。でもまあ、当日は病院に付き添って、長いこと待合室で待たなあかん。
- ◆ 病院ってそうよね。
- 病院で合流して「おはよう」ってあいさつ交わして、普通やったらいろいろ会話するんやけど、あえてしゃべらんかったん。ツンツンして時間が過ぎるのを待ってるだけ。で、やっと診察が終わったら、突然パツと近づいてきてん。
- ◆ ふむ。
- 心の中で「わっ」ってびっくりしたら、手を差し出して「ありがとう」って。「なんや、気持ち悪い」って思ったけど（笑）、そうされると放っとけない…。
- 「先にそれ、言って！」やんな（笑）
- そやねん。そしたら、こっちも一生懸命できたけど、威圧的な暴言から入るから、支援者側も凹むんですよ。
- やっぱり「ありがとう」って言葉やねんね。
- しばらくしたら入院はったから、私らとの繋がりはここで終わり。
- で、そのまま帰ってこれなくて亡くなった。
- ◆ え、亡くなったの？ いつごろ？
- 去年の10月ぐらい。そのお葬式がなんかすごかったらしくて。
- そう。アベルさんの周りにはいつも友だちがいたみたい。在日外国人の繋がりがいっぱいあって、お葬式のときはたくさんの外国人が参列したんやって。
- 写真にもたくさんいてはったわ。そういう友だちの繋がりとってもっと早くに連携できていれば、今も健康に暮らしてたかもな。
- ホンマやなあ。知らんけど…。

melody of smiles



GCCKidsの3学期が始まりました！ 冬休みの出来事を嬉しそうに話してくれる子どもたちの顔がとても生き生き。充実したクリスマスとお正月を過ごしたのが伝わりました！ これから発表会の練習も始まります。子どもたちの成長した姿を見れるのが今から楽しみです！！



大阪市の住民参加型地域組織「地域活動協議会」の活動に橋を架けよう「近ツ橋【ちかつきょう】」

近ツ橋

毎年恒例の餅つき

毎年恒例の長橋地活協の餅つきイベントは今年も第9回新春ゆくとあい祭と合同で実施した。今年は200名以上の方がゆくとあい祭へ訪れ、餅つきコーナーも多くの人で賑わった。大人も子どもも杵を大きく振り上げ、ペタペタと餅をつく。この日も寒い日だったので、餅が冷える前につくのがポイントだ。つき終えた餅を地活協のみなさんが綺麗に丸めて出来上がり。



つきたての餅はゆくとあい祭の参加者にお土産としてふるまわれ、みんなの今日のおやつは焼餅で決まり。毎年この餅つきを見ると、年が明けたという実感が生まれる。
イベントの終わりに「兄ちゃんこれ持って帰る」とお年玉のようにもらった餅はすぐいただいた。愛情がこもっているからなのか、普通の餅よりおいしく感じたのは気のせいではないだろう。



[福井龍磨] 篠笛の練習を始めた。祭囃子や長唄の印象が強いが、近年は他のジャンルにも対応できるよう、西洋音階で調律された篠笛も増えているらしい。まずは口の形から。気長に粘り強く取り組みたい。



[西田吉志] 堺市南区茶山台にある「国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）」内のCAFE&DINING「ぐらん・じゅ」では、4月よりヨーロッパの料理を中心としたディナーがスタートする。本当に美味しいからぜひ食べに行ってみて。



[谷口円] 2年ぶりに木版画講座に通い中。もくもくと彫っている間は無になれるし、ひと掘りするごとに着実に進んでいくし、頭が疲れていても取り組めるものづくりなのが、個人的に◎です。



[田岡秀朋] 正月早々、高校サッカー部のOB戦に参戦。体力を顧みず、イメージは現役のままだから大変。膝だけでこけるわ、擦り傷だらけ。今年こそ、年相応のふるまいができるようにしましょう。

葉っぱの吐見

私は草木が大好きです。とくに観葉植物には心癒されます。私と葉っぱのお喋りを聞いてください。



「アナカリスの葉っぱ」の巻

わたしの頭をつつくのは誰？
いたずら坊主の兄ちゃんメダカ。
わたしの耳をひっぱるのは誰？
かまってちゃんの姉ちゃんメダカ。
わたしの頬をさわるのは誰？
甘えんぼうの弟メダカ。
わたしの目に手をあてるのは誰？
恥ずかしがりやの妹メダカ。
わたしと友達になってくれるのは誰？
わたしのお城は水の中。
わたしの一生は水の中。

赤井まゆみ(現在208匹飼育中)

アナカリスのこと

トチカガミ科に属する水草の一種。「オオカナダモ」の和名をもつ。メダカのおやつにもなる。花言葉は「活気」「旺盛」

皮算用 胸算用

にしなり隣保館の館長が日々の出来事について胸のうちで皮算用していることを語っていくよ。



(寺本良弘)

明けましておめでとうございます。世界的にも国内的にも人権が守られていない政情が続いている。国連は何をしているのか。1月にはトランプが米大統領に就任するが、その言動に世界は恐恐としているように見える。国内では7月にある参議院選挙が衆・参ダブルになるかも？ 日本の政情もどうなるのか？

大阪では万国博覧会が始まる。どんな万博になるのか？ 人の命を大切にす未来、いや、人が希望をもって暮らせる社会の実現を提案してほしい。また、政治もそんなことを大切に考える社会を目指してほしい。

多くの人が今年1年幸せに暮らせることを願って、町の皆さんと対話をしていこうと思う。今年もよろしく願います。

い湯かげん

「2025年問題」を考える

巷に「2025年問題」ということが喧伝されている。「2025年に何かが起こる」のではなく「2025年から…」という意味で「元年」ということ。

それでは「2025年問題」とは何か。第一次ベビーブーム(1947〜1949年)に生まれた「団塊の世代」約800万人が75歳以上になる。国民の約5人に1人が後期高齢者、約3人に1人が65歳以上の高齢者という超高齢化社会だ。当然だが、

雇用、医療、福祉といった日本経済や社会の広い領域に深刻な影響を及ぼすと予想されるというわけだ。まず、高齢者に支払われる社会保障費は増加する一方で、社会保障制度を支える現役世代は減少していく

という問題が起こる。次には、後期高齢者が増えれば、介護、医療サービスが必要とする人も増えるが、サービスの担い手である介護・医療人材を確保できないという問題が起こる。厚生労働省によると、必要とされる介護職員数は2026年には約240万人だが、2020年から2022年の2年間で約3.5万人しか増えておらず約20万人が不足しているという。

もう一つの「2025年問題」はあまり知られていない。中小企業庁によると、2025年までに中小企業・小規模事業者の経営者約245万人が、平均引退年齢の70歳を超える。しかし、約127万人の後継者がまだ決まっていない。一般に中小企

業・小規模事業者では、企業運営の多くを経営者自身の経営能力や意欲に依存しており、後継者未定の半数が「黒字廃業」というのだ。その結果、2025年までの累計で約650万人の雇用と約22兆円のGDPが失われる可能性があるとのこと。西成地区の企業連の会員さんにも高齢者社長さんは多いし、後継者問題はよく聞いてきた。

社会保障の財源と人材の問題については、地元社会福祉法人ヒューマンライツ福祉協会の榎木利幸理事長が何度も論評し、最近「理事長の走りながら考えた」というコラム集を出された。隣保館ゆくとあいにあるので、ぜひ読んでもらいたい。「事業承継」については、ゆくとあい3階のインターナショナルスクールの経営に参与されている南延夫さんが詳しい。お悩みの事業者さんは訪ねてほしい。ボクが駄弁を述べるとすれば、事業承継への公的支援を利用してほしいという点だ。

「中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律(経営承継円滑化法)」の施行により、企業は事業承継

の負担を減らすさまざまな公的支援が受けられる。具体的には、税制支援(贈与税・相続税の納税猶予及び免除制度)と金融支援(中小企業信用保険法の特例、日本政策金融公庫法等の特例)がある。南さんの受売りだが、事業承継にはスピード感が必要で、後継者の育成も含めると準備期間は5〜10年程度。経営者の平均引退年齢が70歳前後であることを考えると、経営者が60歳になった頃には準備を始めなければならない。

㈱ナイスも、ヒューマンライツ福祉協会やゆくとあい、企業連とも相談して、人材問題、事業承継問題にアプローチする2025年にしたもののだ。



富田一幸

人間のしあわせ、福祉のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。



[山村裕太]久しぶりにカラオケへ行きましたが、年々高い声が出にくくなっている気がします。もしかするとタバコが原因かと思いき、禁煙の2文字が浮かびましたが、タバコが美味しいので諦めました。



[安田拓也]楽塾の芝居初公演は好評に幕を閉じた。劇団員の入塾という縁に恵まれ、1年間粘り強く練習を続けた。塾生の皆さん、応援いただいた皆さんに感謝です。写真や動画記録を見て、改めて噛み締めた。



[若松司]ある気鋭の哲学者が生成AIの動画について「節節性がない」と言っていた。ふむ…。自分が*ぬるぬるうごく、と表現していたのは、きっとそういうことなんだろう〜

地域の縁を心でつなぐ

心の時間

量消費の現代ならではのサービスです。

「もったいない」は仏教用語です。「世の中の全てのは繋がり合って成り立っている」という意味を含む「もったいない」の縁を断ち切る行為を「もったいない」と言います。ノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんは、地球資源に対する尊敬の念が込められているこの言葉に感銘を受け、全世界に発信されました。

母校では「私を育てて下さるあらゆるものの命を粗末にはしていない」という「もの」への感謝の意を込めて「学用品供養祭」が毎年開催されます。日本でも「もったいない」精神が失われつつある今、続けてほしい行事の一つです。

松向寺 通法

長年愛用した携帯電話が故障し、新しい機種を買い求めに行った時のこと。店員から機種の代金が最初の二年間は毎月一〇〇〇円、それ以降は毎月四〇〇〇円で、四〇〇〇円になる前に新機種と交換すれば、残りの代金が免除されるという契約を勧められました。まだまだ使用できても「もったいない」ことに、廃棄されるのです。大

写真は人生の一部が映ったもの。



ワタリ の1枚

『三つ子卵』

お正月にカニ鍋をしたときのこと。シメに雑炊を作ろうと卵を1つ取って割ると、驚くことに三つ子でした。びっくりして思わず声が出たのはいつぶりでしょうか。三つ子の魂百まで。ふたご超えて三つ子。そんな言葉が浮かびました。新年早々いいことがあるもんだなあ。この幸運が続くことを願って。(編集スタッフ 西井亜花梨)

ここは思い出や自慢の1枚を少しご紹介するコーナーです。

ゆ〜とあい

にしなり隣保館

にしなり隣保館「スマイル ゆ〜とあい」は、地域コミュニティ全体が抱える課題の解決をめざす民設民営の福祉施設です。日々悩んでおられる困りごとはありませんか？お悩み解決のためにできることをいっしょに探しましょう。

なび2月号(vol.216)
発行日:2025年2月1日(創刊日:2007年1月1日)
発行:株式会社ナイス
住所:大阪市西成区長橋3-6-33
電話:06-6563-1150
E-mail:info@nice.ne.jp
url:https://www.nice.ne.jp/

編集長:西田吉志
編集:磯拓哉、沖田一志、笹川勝正、住友宣夫、田岡秀朋、福井龍磨、安田拓也、山村裕太、若松司(あいうえお順)
イラスト:hidarimaki、西井亜花梨
デザイン:谷口円

(株)ナイス
ホームページ

